



親子で見直そう！
メディアとの付き合い方

『子どもとメディア』
～スマホ・ゲーム・インターネット依存～



1990年代以降、携帯電話やゲーム機・インターネットが普及



現在、低年齢の子どもたちにまでこれらが普及



便利な面もあるが、多くの問題が子どもたちに起きている！

依存による生活リズムの乱れ

心身の発達に悪影響



スマートフォン(スマホ)やインターネットによる事件や事故



子どもの携帯ゲーム機・スマホに関する アンケート調査(2016年、327名回答)

<対象>

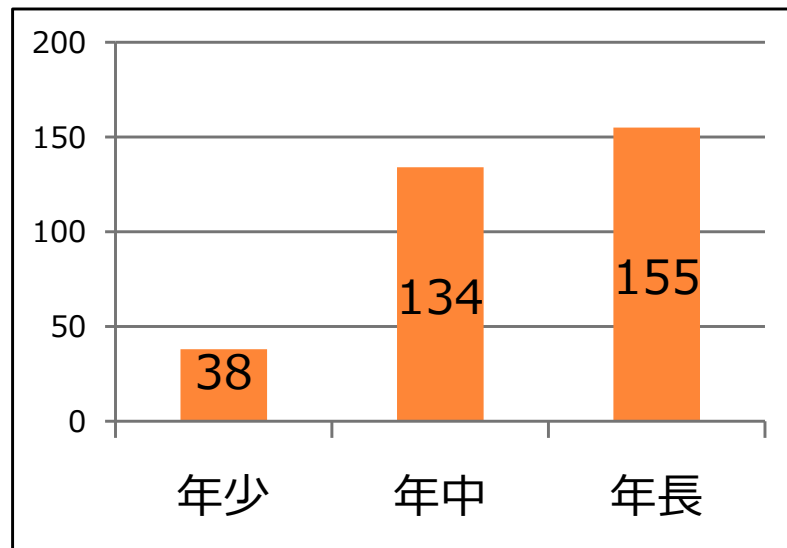
- ・**山口市立幼稚園に通う園児(保護者が回答)**
大内幼稚園、宮野幼稚園、吉敷幼稚園、平川幼稚園、
仁保幼稚園、小鯖幼稚園、鑄銭司幼稚園、名田島幼稚園、
二島幼稚園、秋穂幼稚園
- ・**327名**が回答

<質問内容>

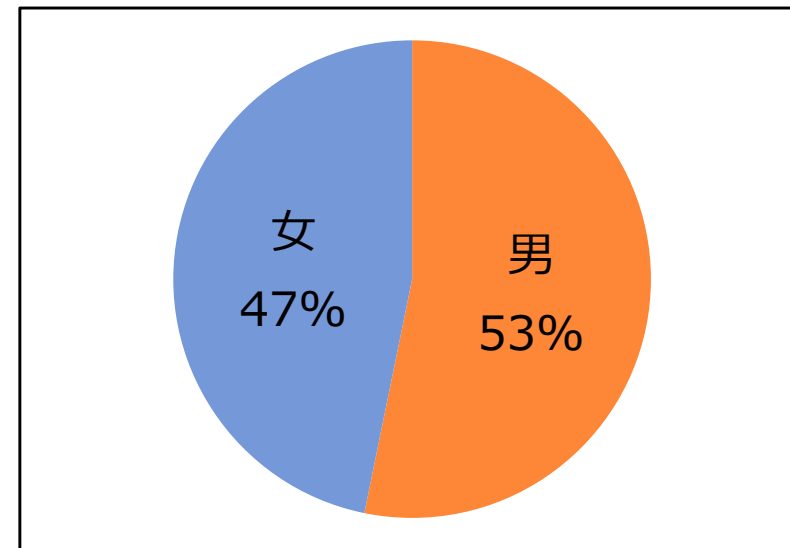
- ・年齢、性別、兄や姉の有無
- ・携帯ゲーム(ニンテンドーSwitch Liteなど)で遊ばせているか
- ・携帯電話やスマホのゲームで遊ばせているか



子ども携帯ゲーム・スマホに関する アンケート調査(327名回答)



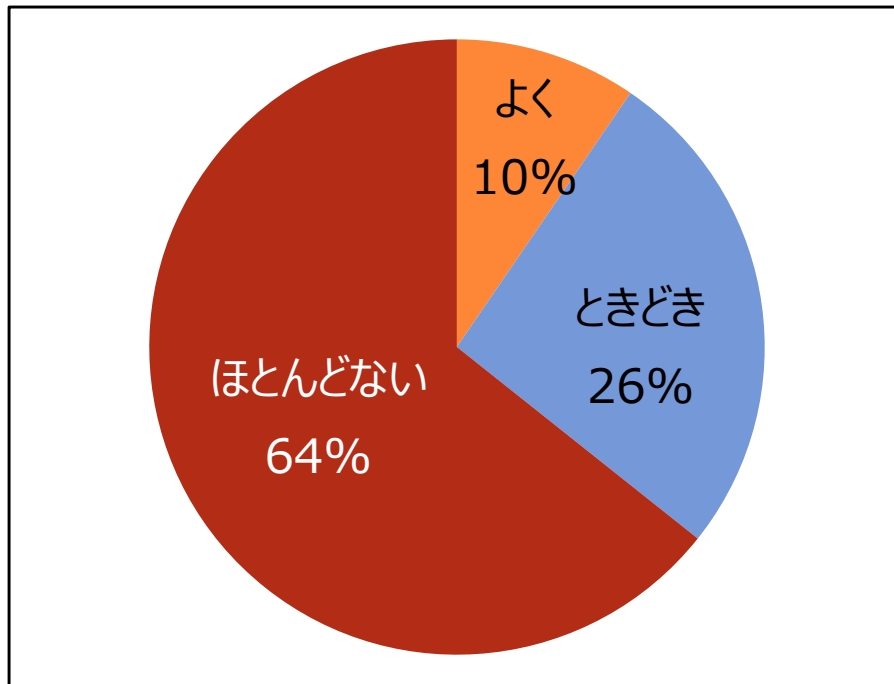
年齢



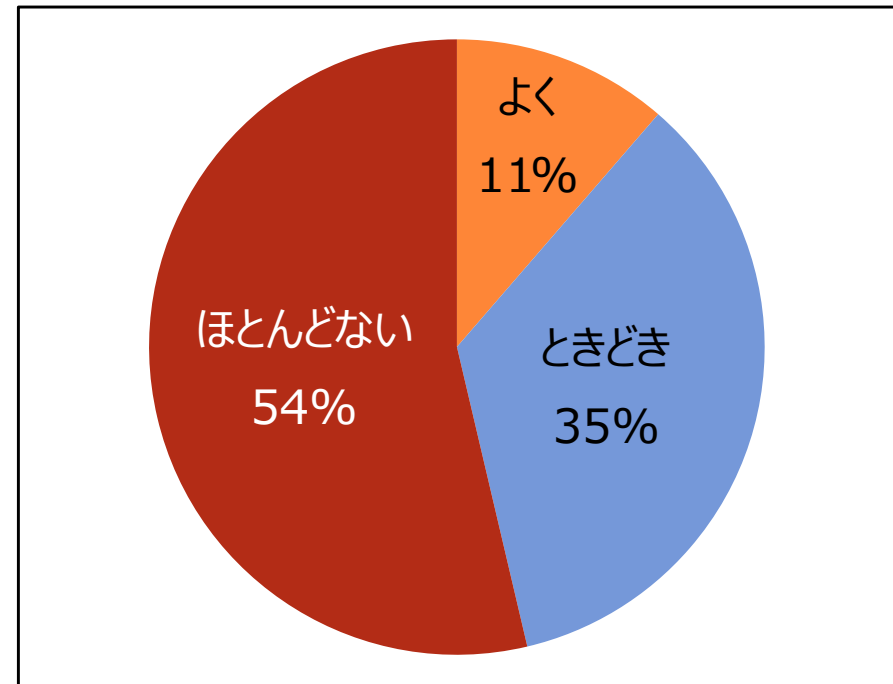
性別



子どもの携帯ゲーム・スマホに関する アンケート調査(327名回答)



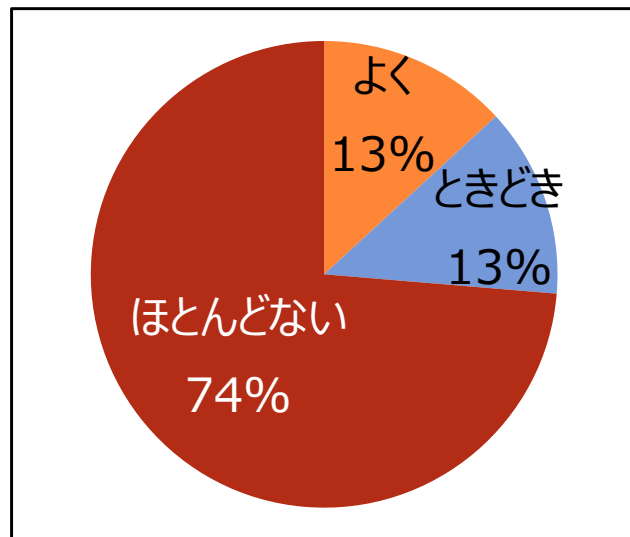
携帯ゲーム機で遊ばせていますか？
(ニンテンドーSwitch Liteなど)



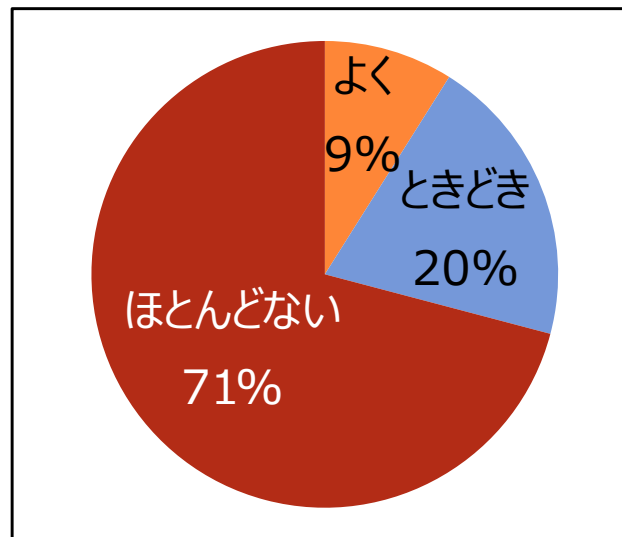
スマホで遊ばせていますか？



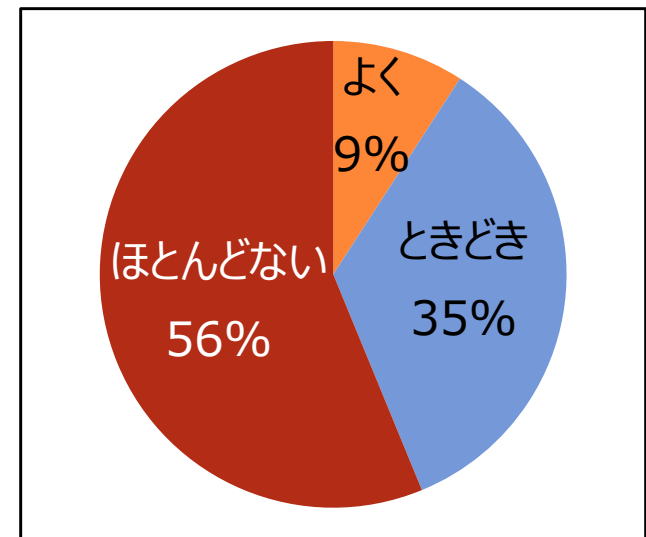
携帯ゲーム機で遊ばせているか(年齢別) (ニンテンドーSwitch Liteなど)



年少



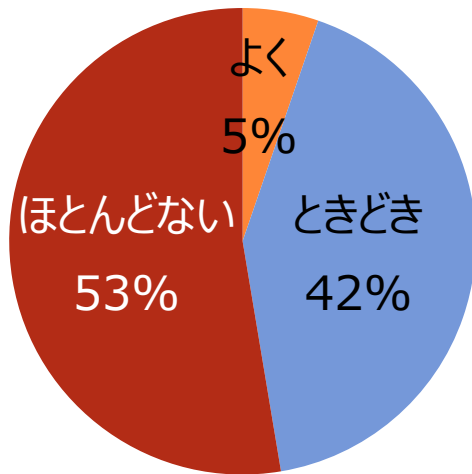
年中



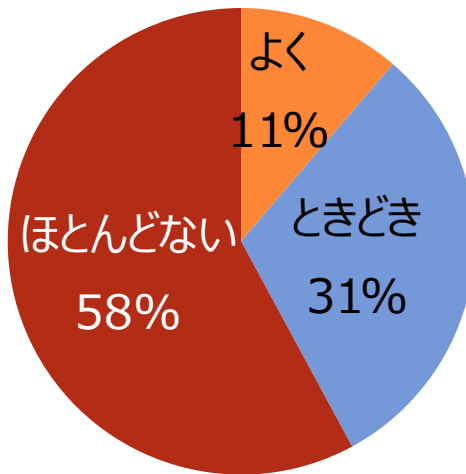
年長



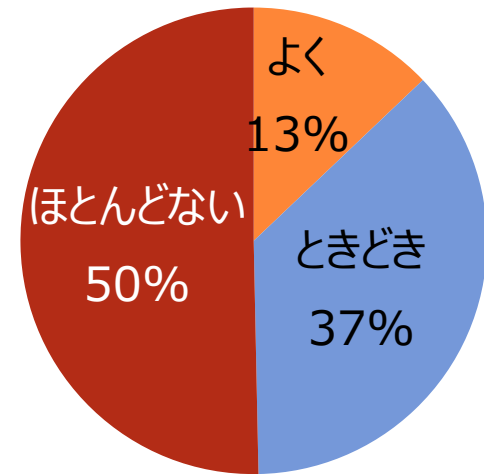
スマホで遊ばせているか(年齢別)



年少



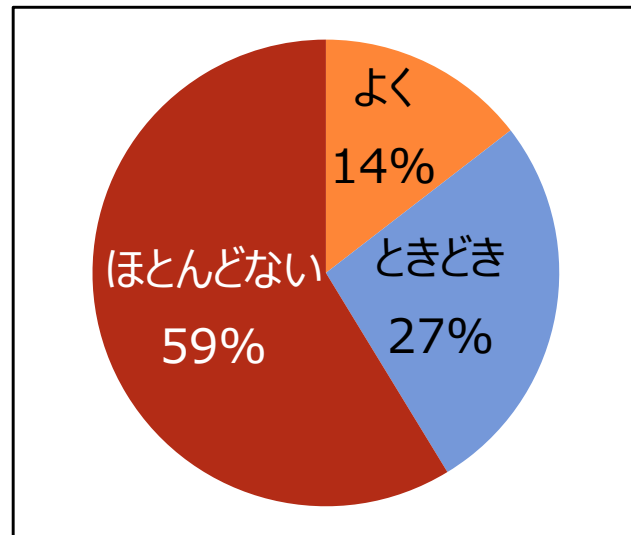
年中



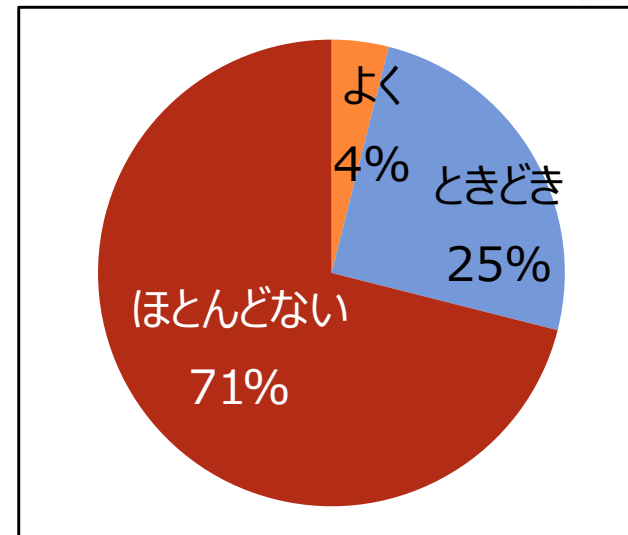
年長



携帯ゲーム機で遊ばせているか(男女別) (ニンテンドーSwitch Liteなど)



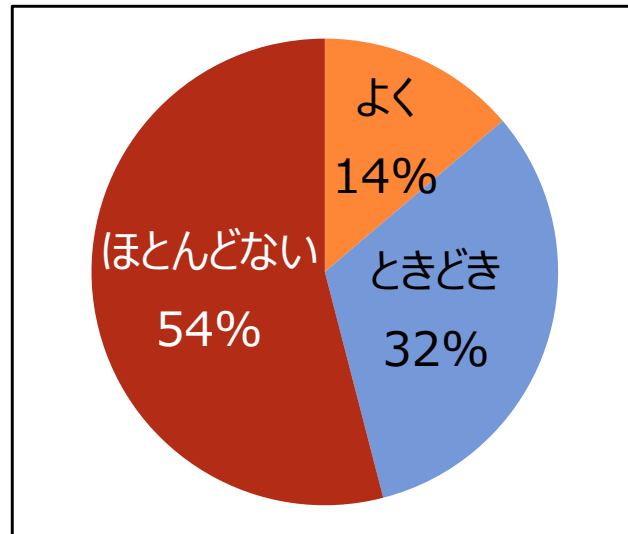
男の子



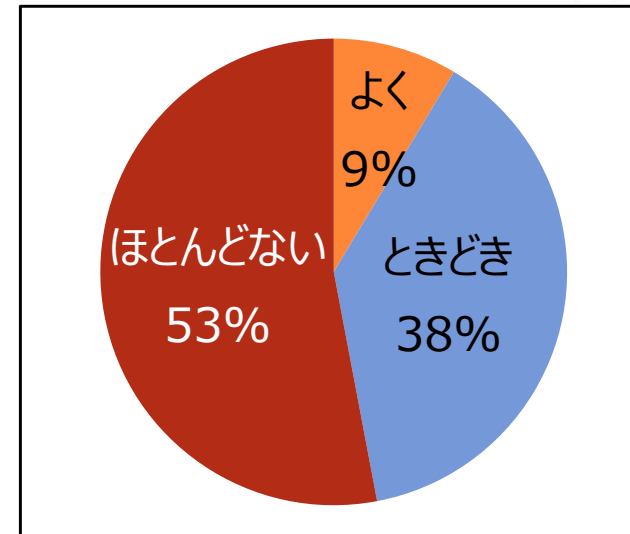
女の子



スマホで遊ばせているか(男女別)



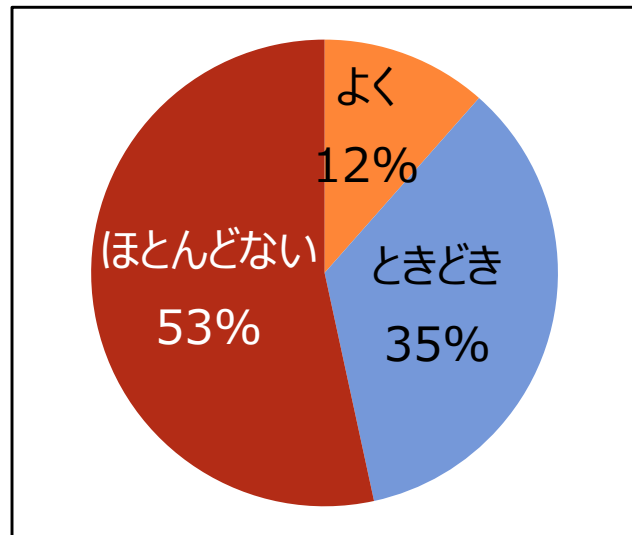
男の子



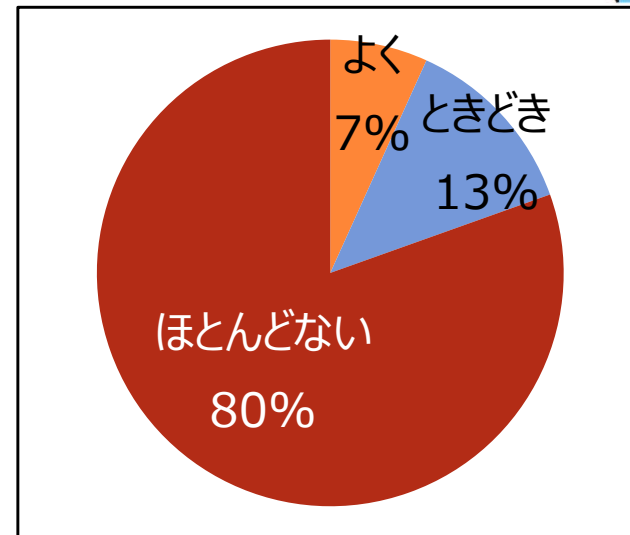
女の子



携帯ゲーム機で遊ばせているか(兄弟の有無) (ニンテンドーSwitch Liteなど)



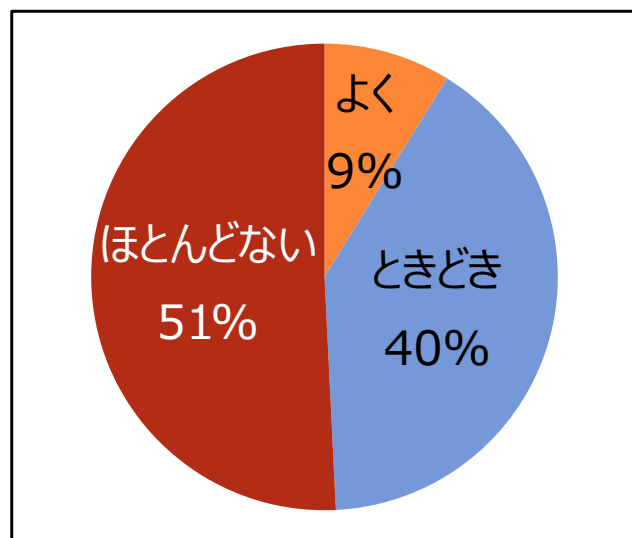
兄または姉がいる



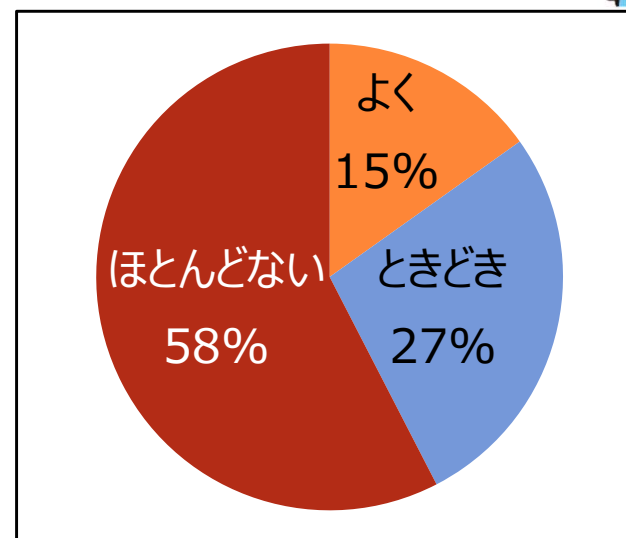
兄または姉がいない



スマホで遊ばせているか(兄弟の有無)



兄または姉がいる



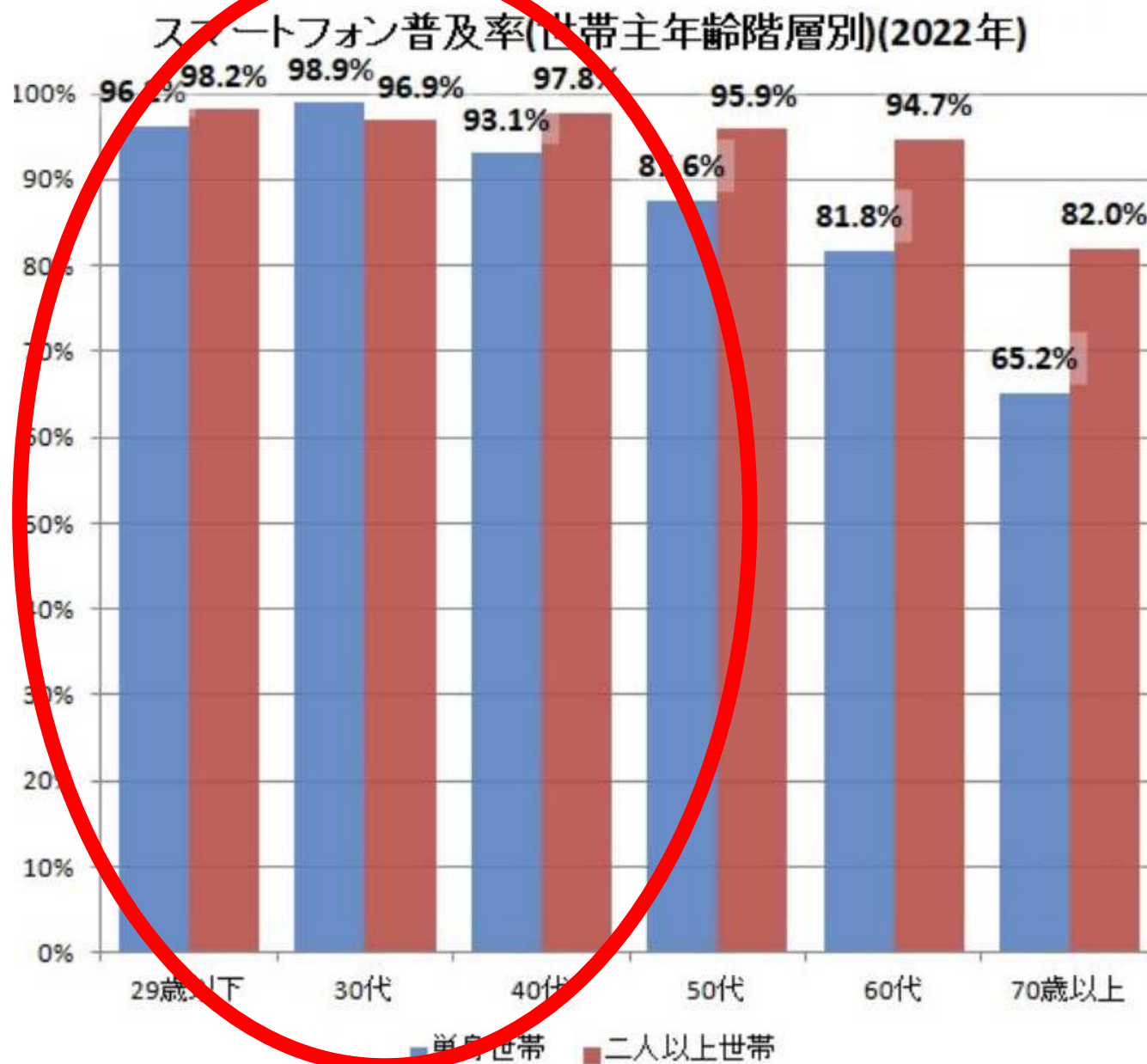
兄または姉がいない



アンケート調査結果のまとめ

- ニンテンドーSwitch Liteなどの**携帯ゲーム機**は、年齢が高い層・男の子・兄または姉がいる層で、遊ばせている率が高かった。
- **スマホのゲーム**は、年齢・性別・兄または姉の有無に関わらず、約50%の率で遊ばせていた。
- 上記結果から、**携帯ゲーム機**は持っていない家庭があり、遊ばせるためには購入をしないといけないが、スマホは殆どの家庭で親が保持しているため、幼稚園児にとって極めて身近な物のため、遊ばせる率が高くゲームをさせておくと家事がはかどるなどの理由から、幼少早期からスマホゲームをさせていることがうかがえる

スマートフォンの普及率(内閣府 消費動向調査)



現代の子どもをとりまく環境

- 生まれた時から、家庭には96.9～98.2%の率で、スマホがある。
- スマホだけでなく、携帯ゲームやパソコンなどのメディアが生まれた時から身近にある環境で育っていく。
- そういった環境で育児をするということを前提に、スマホなどのメディアで発達や生活習慣が悪くなるなど、メディアが子供に及ぼす影響を十分に理解したうえで、育児をしていかなければいけない。





子どもとメディアに関する5つの提言



(社)日本小児科医会

- (1) 2歳までのテレビ・ビデオの視聴は控えましょう。
- (2) 授乳中、食事中のテレビ・ビデオの視聴はやめましょう。
- (3) すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが必要です。
1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
- (4) 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- (5) 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくきましょう。





子どもとメディアに関する5つの提言



(社)日本小児科医会

(1) 2歳までのテレビ・ビデオの視聴は控えましょう。

研究:

A群 : 2歳までにテレビ・ビデオの視聴を控えた群

B群 : 2歳までにテレビ・ビデオの視聴を長時間行った群

このふたつの群で、言語発達を調査。

⇒ A群のほうがB群より言語発達が良好であった。





子どもとメディアに関する5つの提言



(社)日本小児科医会

(2) 授乳中、食事中のテレビ・ビデオの視聴はやめましょう。

**生まれた赤ちゃんを抱き上げ、授乳し、肌に触れ、
目を合わせ、話しかけることで、赤ちゃんの脳は発達し、
愛情も生まれる。**

**1歳までの時期は、
親子の基本的信頼関係が形成される大切な時期です！**





子どもとメディアに関する5つの提言



(社)日本小児科医会

- (3) すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが必要です。
1日2時間までを目安と考えます。
- (4) 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- (5) 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくきましょう。



子どもたちに広がる スマホ・ゲーム・インターネット依存

< 高校生のスマホ仕様の実情 >

- ・授業中の使用: 6割
- ・入浴中の使用: 5割
- ・圏外だと不安: 5割
- ・30分に一回の携帯チェック: 6割



子どもたちに広がる スマホ・ゲーム・インターネット依存

＜子どもたちのゲーム・インターネット依存＞

症例1. ゲーム漬けから成績低下・不登校になった中1男児

症例2. 不登校からゲーム漬け、生活リズム崩壊した中3男児

症例3. ネットゲームに依存し続けて不登校になった中1男児

症例4. 夜間のゲーム漬けから
起床困難・腹痛・頭痛を発症した中2男児



スマホ・ゲーム・インターネット依存者の特徴

1. 「幼い心」

年齢相応に成長していない「幼い心」

⇒ SNSやゲーム、インターネットなどの無機質な電子世界に依存することで、人間の「こころ」の成長が妨げられる。



2. コミュニケーション障害

他者の言葉が理解できない

自分の気持ちを言葉で表現できない

⇒ 電子世界に依存し、コミュニケーション能力が成長しない



3. 寂しい心

現実世界の「寂しさ」

⇒ その「寂しさ」から電子世界へ逃避する。

悪循環



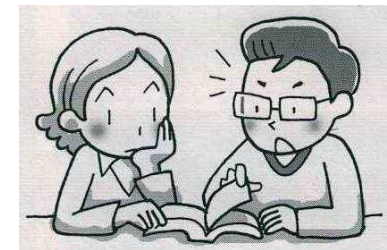
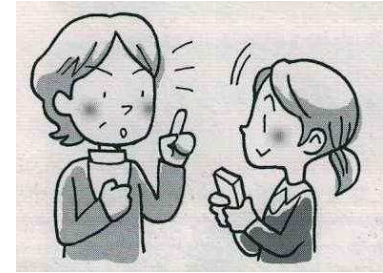


お母さん、お父さんがやるべき スマホ対策



もし持たせるなら・・・

1. 使用にあたってきちんとルールを決めておく
2. スマホで何ができるか親自身も理解しておく
3. スマホの機能は必要最低限のものを選び、
フィルタリングサービスなどを必ず利用する
4. 利用の仕方を子どもに定期的に確認する
5. 殺人・爆破予告などは法律で禁じられていることを伝える





お母さん、お父さんがやるべき スマホ対策



もし持たせるなら...

6. 依存症にならないように注意する



子どもと話し合って使い方を見直す必要があります





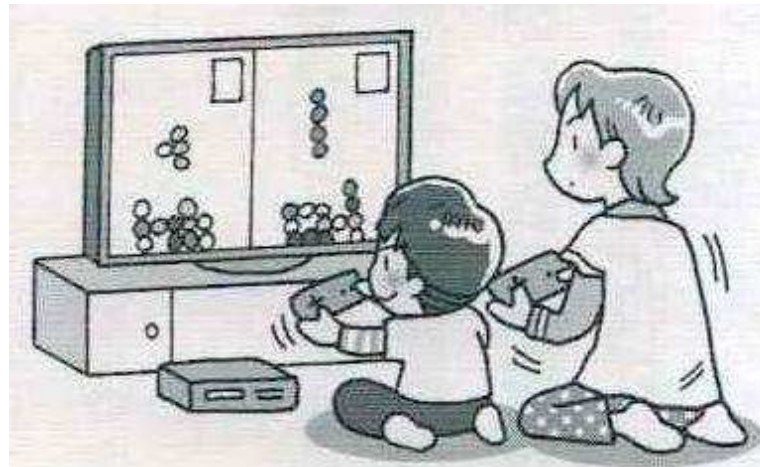
お母さん、お父さんがやるべき ゲーム対策



1. 子どもと話し合って時間などのルールを決める

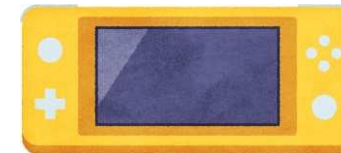


2. 子どもがどんな内容のゲームをやっているのかを知っておく





お母さん、お父さんがやるべき ゲーム対策



3. 決めたルールを守れなかった時にはゲームを取り上げる



4. 暴力シーンの多いもの、殺人ゲームはやらせない





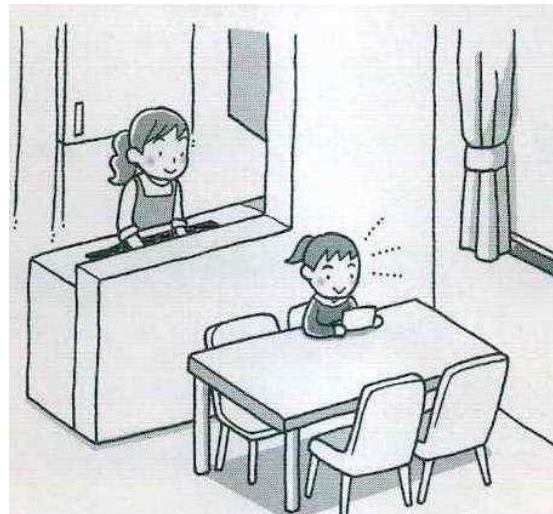
お母さん、お父さんがやるべき ゲーム対策



5. 長時間ゲームをすることで体にさまざまな影響が
でてくることを伝えておく



6. リビングなど親の目の届く場所でゲームをさせる





お母さん、お父さんがやるべき ゲーム対策



7. ゲーム機・ソフトを買い与えるときには内容を選び、
必要性も考える
 - ・遊ぶときのルールの再確認も行う
 - ・買ったことによって問題が起きたときの対応も考えておく
8. 外出するときに持ち出す場合のマナー・約束ごとを
決めておく
 - ・友達の家を持っていくとき、外で遊ぶときの
使い方について普段から話し合って決めておく

例えば・・・

歩きながらしない、公園に行ってまでゲームで遊ばない

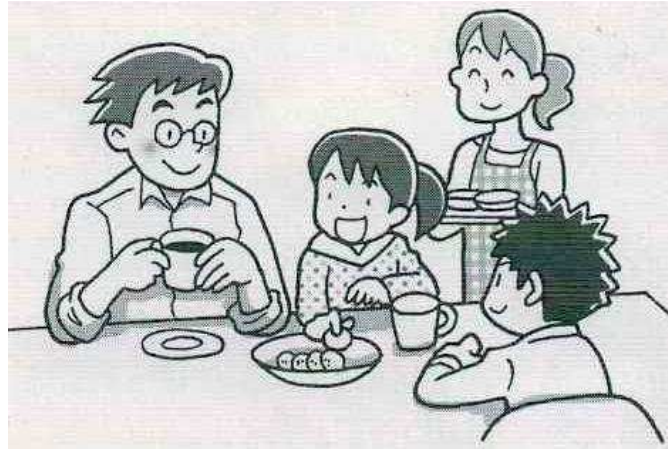




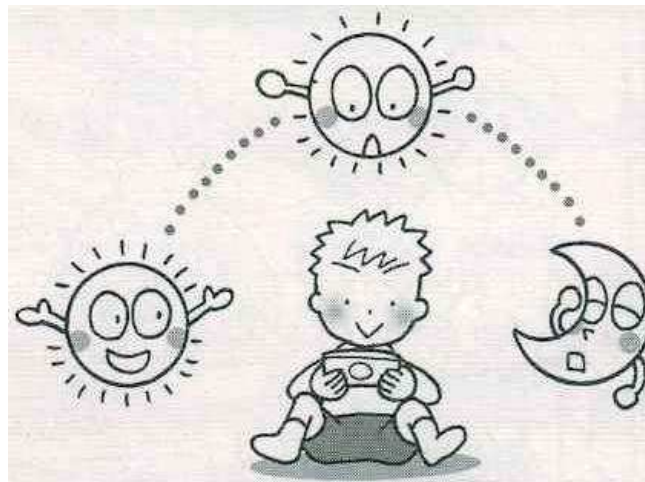
お母さん、お父さんがやるべき ゲーム対策



9. ゲームにばかり夢中になってしまう時間をつくらせない



10. ゲームばかりしていることは時間の無駄になることを伝える





お母さん、お父さんがやるべき パソコン対策



1. ルールを決める



2. インターネット、メールなどの使い方を子どもと確認しておく





お母さん、お父さんがやるべき パソコン対策



3. 子どもにパソコンを使わせるのであれば、
親自身も、パソコンで何ができるのかを知っておく
⇒ 子どもが何をするのか、パソコンでどのようなことができるのかなどを把握し、使い方も知っておく
4. 殺人予告など法に触れれば犯罪になることを教えておく
⇒ ・パソコンの向こうにも人がいること、自分が書かれたら
いやなことは他人にもしないことなどを約束する。
・殺人・爆破予告などをすることは法律で禁じられて
いることを理解させ、絶対させないようにする
5. パスワードやフィルタリングをかけておく
⇒ 子どもが勝手に使えないような環境作り

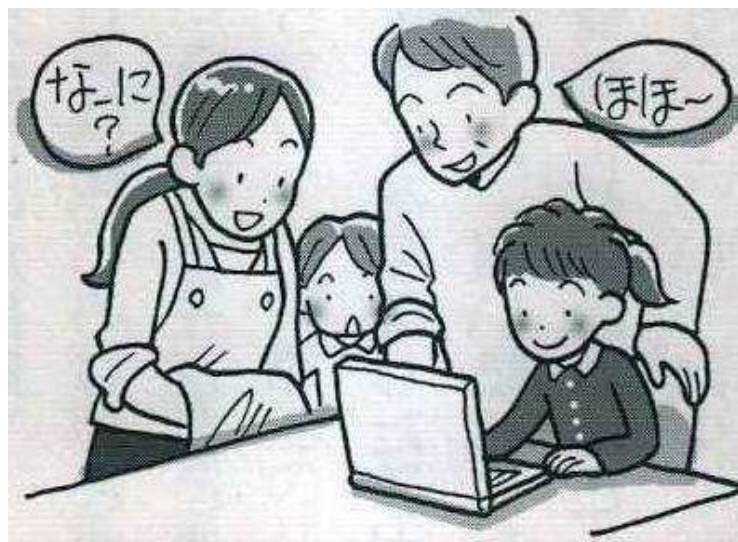




お母さん、お父さんがやるべき パソコン対策



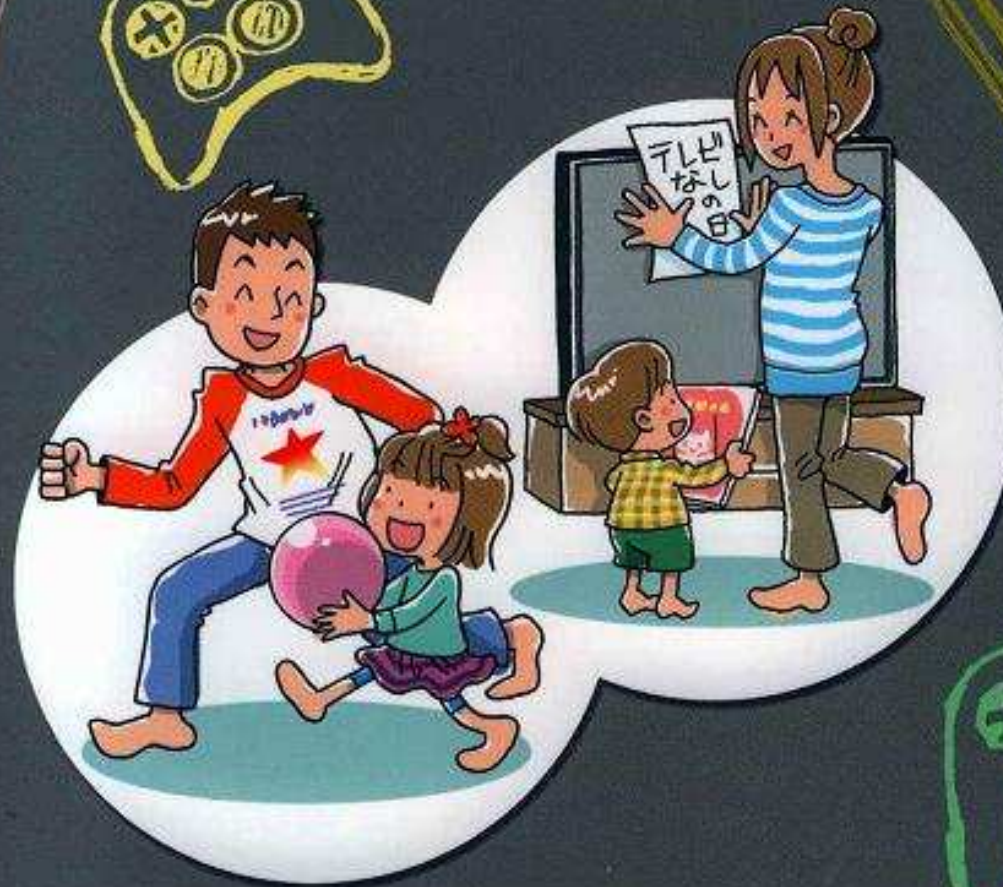
6. リビングなど人が集まる場所にパソコンを設置する



7. インターネットでの調べ物などは子どもと一緒に使う



子どもたちを守りながら



メディアと上手に付き合っていきましょう



参考図書

「メディア漬け」で壊れる子どもたち

清川輝基・内海裕美 共著

少年写真新聞社

